

第 1 回白滝地域まちづくり会議議事録

日時	令和2年7月14日(火) 18:30~21:05	
場所	白滝国際交流センター研修室4	
出席者	矢木会長、大久保副会長、岩城委員、内河委員、江面委員、今野委員、山崎委員、 鴻上白滝総合支所支所長、総務部企画課 今井課長、中原主幹	
欠席者	中村委員	
次第	発言者	発言要旨
1 開会	企画課	ただ今より令和2年度第1回白滝地域まちづくり会議を開催する。中村委員から欠席の連絡をいただいている。以下の議事進行について、会長会長に願います。
	会長	コロナも落ち着いたかと思うが、東京では色々騒がれている状況。アンジくんのふるさとまつりについては中止となった。代わりに100人~200人くらいのもので、子どもたちを集めてやろうかという話になっている。農家の繁忙期が終わってから計画しようと思っている。本日も難しく、堅苦しく考えずに、地域が良くなるために提案したい。よろしく願います。
2 報告事項	会長	報告事項について役場企画課から説明願う。
	企画課	広報えんがる6月号に令和元年度まちづくり会議について、記事を掲載した。

令和元年度連続まちづくり会議

令和2年度連続まちづくり会議

町民の皆さんとともにまちづくりを考えます。

- ・2月3日の全体会議で委員32名を第2期委員として委嘱、町長から講話をさせていただきます。
- ・右ページに合併前に行った財政推計についてグラフに示している。各地域は本当ならば財政破綻とも言えるような状況だった。絶対に当時の状況に戻してはなら

		<p>ないということをお伝えした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月20日～3月30日に地域ごとの会議を行った。白滝は3月30日に開催した。 ・企画課からの話題提供においては、人口減少の状況、財政の状況、公共施設の状況についてお伝えした。 ・各地域会議においては、「子育て支援」「若者のU I J ターン促進」「ふるさと納税の促進」「観光」その他で「公共交通」「買物」「役場職員の問題」「行政の無駄を少なくする」などの意見が出た。 ・白滝地域の会議の振り返りについては、後ほど議事の説明の中で触れる。
	会長	<p>報告事項について質問はあるか。</p> <p>(なし)</p> <p>なければ、次の議事(1)人を呼ぶ対策について、企画課から説明願う。</p>
<p>2 議事</p> <p>(1) 人を呼ぶ対策について</p>	企画課	<p>白滝地域の課題・特性・背景についてこれまでの議論に基づいて以下のとおりまとめた。</p> <div data-bbox="435 958 1166 1370" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">白滝地域の課題・特性・背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 合併時1,152人→現在617人(△46.5%) ・買物困難、飲食店少ない、公共交通の維持 ・ジオパーク→教育はいいが、観光は今ひとつ ・子どもの流出、若者人口少ない、企業は人手不足 ・学校の維持(義務教育学校も念頭) ・北大雪の自然、アウトドアレジャー、夏涼しい ・移住者たちのユニークな活動 ・新しい日常、アフターコロナ対応(臨時交付金4.6億円) </div> <p>前回のまとめ、今回の討議テーマについては以下の2点となっている。</p> <div data-bbox="435 1429 1166 1841" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">前回のまとめ(今回の討議テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人を呼ぶ」ための対策 ・行政の無駄の見直し、公共施設の見直し </div> <p>議事1点目の「人を呼ぶ」対策ということだが、一口に「人を呼ぶ」といっても色々な形がある。滞在の長さや実現の難易度の度合いで以下のとおり整理した。このうち、どこをターゲットにするかで対策も変わる。</p>



例えば、移住・定住を実現させるにはどういった施策が考えられるかとなると、以下のような整理ができる。



検討例として以下のとおり作成した。ターゲット、背景、地域特性、解決したい課題などを整理し、施策の具体的内容をまとめている。その財源についても検討できるとよい。



例を参考に「人を呼ぶ」対策の具体的提言をまとめていただきたい。




・資料の「移住定住パンフレット」については、遠軽の立地や環境、支援制度などを紹介する媒体として作成している。

・資料の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、人口減少問題に対し、町がどうやって進めて行くかをまとめたもの。「移住・定住の促進」「交流人口の拡大」「子育て支援」「教育」「公共交通維持」「通信環境整備」など総合的に「人を呼ぶ」政策を載せている。この計画にこういったものを載せたらいいというような提言をいただきたい。

会長	話題提供に対して質疑はないか。
委員	「遠軽町に住み続けたいと思う人の割合 55.2%」というのはアンケートの結果か。
企画課	第2次総合計画を策定する際に実施したアンケートの結果。
委員	55%しか住み続けたいという人がいなかったということか。
委員	ワーケーションの受け入れは、うちも何件かあるが、光が通ってないのでテレビ会議ができない。そこがネックになっていた。光はいつごろ届くのか。
企画課	光ファイバー整備事業についてはまだ検討段階だが、今年度着工し、来年度までに完了する見込み。電話がつながっているエリアはほぼカバーする方向である。
委員	それはワーケーションを受け入れるのに必須事項だと思う。逆にコロナで地方に移住したいと考える人が増えているので光さえ通れば条件がよくなる。 あと、店舗近代化助成制度や空き店舗活用制度があるが、白滝では使えないと聞いたが。
企画課	店舗の近代化については、地域制限はない。ただ、業種の制限があり、小売、飲食、生活関連サービス業が対象。
企画課	空き店舗活用事業については、都市再生整備計画事業として遠軽の中心市街地に限定して5年間の計画の中で進めているもの。残念ながら、これについては遠軽地域中心市街地の商業地域に限定している。これをきっかけに制度を広げるといふことも考えられるので、そういう声を上げていただければ、変えていくこともで


	きる。
委員	遠軽町全体に広げていただけると、カフェや宿泊施設の開業に使えると思う。
委員	使えたらやりたいという人がいると思う。白滝は施設の見直しも課題として挙がっている。このような支援を活用して空家や空き店舗を使って人を呼び込むようになれば、課題の解決につながるのではないかな。
委員	店舗の近代化は、店舗を買ってから活用できるのか、あるいは空き店舗取得に町が間に入るのか。
企画課	基本的に町が入ることはない。購入費も賃貸物件の改修費も対象になり、3年間分割で助成される。
委員	建物の購入費用も対象になる？
企画課	対象になる。
委員	こういう事業をやってほしいというのも提言になるのではないかな。
会長	空家対策のフォローも含めて提言になる。人手不足もあるので、そういうところにも町からの支援がほしい。
委員	仕事は意外とあるが、うまく伝わっていないと思う。北海道に若い人が入ってきているところはいくつかあるが、遠軽町の参考になると思っている町が隣の上川町。町が「上川に住んだら、こういう暮らしができます」ということを積極的に伝えている。「ワークスタイルブック」というものを作っていて、遠軽町が作っている移住のパンフレットのパワーアップ版だと思う。移住者とかUターンとか、上川で楽しく暮らしている人の「しごと」や「暮らし」を何人も特集している。企業の求人や新規就農、起業の情報も載せている。移住促進となると起業者に目が行きがちだが、地域の企業で働いてもらえる人、田舎で子育てをしたい人にも移住してもらいたい。そういう人たちに届くような「遠軽に住めば、こんな暮らしができる」というメッセージを伝えるようなパンフレットやホームページがあると移住につながりやすくなるのではないかな。やっていることは遠軽町と同じだが、伝え方がすごく素敵で、うちに住み込みで働きに来ている大学生も「ワークスタイルブック」を見て、「卒業して何年かしたらこの人たちの仲間になりたい」と言っていた。ここに来たら、こういう人たちと仲間になれて楽しい「暮らしごと」ができると想像しやすい。
委員	そういう人はコンビニがないというのは大丈夫なのか。
委員	コンビニがない環境で子育てがしたいと考える人はたくさんいる。上川はファーストフードのチェーン店がないということを書りの一つとして載せている。コンビニが少ないことも売りにしている。

委員	「コンビニがない」＝「買い物ができない」はイメージの問題。インターネットが使えれば、正直、買物で困ることがない。もっと実例を挙げて伝えれば若い人にとって苦勞することはないと思う。
会長	空家対策とか、人員確保、情報発信などのポイントがあった。
委員	空家バンクがあるといい。
委員	空家バンクも近代化助成制度と抱き合わせて、拡充するといいのではないか。白滝の空家は管理する人がいなくて、取り壊しができないのが現状。更地にする費用を助成してもらうようなことができないだろうか。
企画課	町内には不動産業者が2社ある。通常の場合ではそういうところに関わるので、町が中に入る必要がない。今言われたような管理者がわからない空家は町内にたくさんある。それらをどうやって解消するかは非常に難しい問題となっている。住民生活課で空家調査をやっているが、なかなか手を付けられていない。違う視点で全域的に考えて行くべき。
委員	空家バンクで言っていたのは、それよりも手前のちょっと直せば住めるような物件のことだと思う。
会長	地域おこし協力隊もそのようなことをやりたいと言っていた。
委員	そういった空き物件の情報をネットで掲載して、全国の人が見られるようにしている地域がある。
委員	前に話に出ていたケーブルテレビについて、光ファイバーにできないか。
企画課	光ファイバーは今回の交付金を活用してある程度整備ができると思うので、インターネット経由でテレビを見るということも考えられる。
会長	他に何かないか。
企画課	店舗近代化の制度については、元々旧丸瀬布町に合った制度で合併した当初は遠軽地域だけ対象外となっていた。5年ぐらいたって遠軽地域でも使えるようになったもの。
委員	空き店舗活用事業を全域に広げてというのは提言の一つとしてもいい。
委員	えづらファームでは、ワーケーションの方に多く利用されているのか。
委員	いるが多くはない。年に数件程度。これから増やしていこうと考えている。観光がメイン。
会長	人を呼ぶについては、「くらしごと」「空家バンク」「空店舗活用」「ケーブルテレビ」ということでまとめる。次に公共施設の見直しについて。

<p>(2) 行政・公共施設の見直し</p>	<p>企画課</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">白滝地域の行政・公共施設見直しの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口規模に合わせる ・類似施設を統合 ・「新しい日常」「アフターコロナ」への対応 ・使いやすさの向上 ・維持管理費の縮減 <p style="text-align: center;">※「今まで」を切り替え「これから」を考える。</p>  </div> <p>・公共施設の一覧表については、整理中であり統廃合などを検討していただくには情報が足りないと思う。</p> <p>・検討に必要な資料についても御意見をいただきたい。</p> <p>・合わせて行政の無駄についても御意見をいただきたい。</p>	
	<p>会長</p>	<p>使わないものは売りに出すのがいい。キャンプ場の前の土地や苗畑について、町に売ってほしいと申し出たが断られたことがある。荷物を抱えて売りに出そうと思っていない。</p>	
	<p>委員</p>	<p>補助金を使って建てたものは何年か売れないと思うが、法的に売れるものと売れないものをはっきりと出してほしい。</p>	
	<p>委員</p>	<p>売るに当たり、金額の問題もある。自分も旧図書館、車庫を買う話をしたことがあるが、評価額が高く断念した。そういった部分も考慮すべき。</p>	
	<p>委員</p>	<p>逆にうちの社屋の建物は自社所有で、土地は町からの賃貸だったが、町から購入してくれということで購入した。そんなに高い金額ではなかった。</p>	
	<p>会長</p>	<p>売れる物件は、情報を出す。そうすれば、買いたい人が出るかも知れない。</p>	
	<p>委員</p>	<p>補助金の制限というのは何年なのか。</p>	
	<p>企画課</p>	<p>10年過ぎれば、大体のケースでは制限を外せると思う。耐用年数は二十数年なので、普通はそれが年限。</p>	
	<p>委員</p>	<p>維持費を減らす目的をかなえるために高い価格じゃないと売れないではなくて、状況に応じて変えていくことが必要ではないか。</p> <p>質問だが、統廃合をした場合、廃止した施設は廃屋として残るのか。それとも潰して更地にするのか。</p>	
	<p>企画課</p>	<p>街なかで芸術文化交流プラザを建設しているが、あそこは福祉センター、青少年会館、高齢者センターを統廃合する施設となっている。この3施設は老朽化しているため、都市再生整備計画事業のパッケージの中ですぐ取り壊しをする。将来的に何に使うかわからない施設を残すと後の人が困るので、できるだけ速やかに壊していくというスタンスで考えている。</p>	

委員	解体費はすごくお金がかかる。その3施設はわかるが、他の地域で廃止したからといってすぐ壊せるかということ、そう簡単にはいかないだろう。だから使わなくなる施設については、空家バンクのようなもので誰か使わないかとした方がいいだろう。
会長	庁舎も耐震になっていない。なぜ建替えの話が出て来ないのか。
委員	役場本所をここに持って来るのがいい。
委員	学校の維持ということで、小中学校を統合した場合、校舎を使いやすくするような改修も考えてもらえるのか。
企画課	提案としていただければ、検討の余地は十分あると思う。
委員	PTAでこれから検討されるが、芭露のように小中学校を統合して9年制の義務教育学校にするという考えがある。山村留学を受け入れて生徒の確保を図って維持することも話し合われている。小学校の方が校舎が新しいので、水飲み場の高さやトイレなどを使いやすいように直せるという話になれば、話が進みやすい。
委員	今後更に子どもが減って学年によっては0や1という時もある。その中で学校を維持できるのか。
委員	新規就農の方なんか地元で学校がなくなってしまうと、送り迎えなど大変なので、なんとしても学校は残したい。コンビニはなくてもいいかもしれないが、教育の場はあった方がいい。新規就農の人たちのためにも残したい。
委員	そのためにも移住者を増やしていかないとならない。今いないけど、学校がないと帰って来たい人も帰って来なくなる。
企画課	手をかけて学校を残すとなったら20年後にどうなってるのということも含めて考えなければならない。今いる人だけじゃ厳しいとなったら、学校に投資はできないという判断にもつながる。
会長	白滝の場合、白滝から遠軽に出て行っているというのが現状。提言と言われても、違うことを考えないと無理ではないか。
委員	子育ての希望の点で提言したい。田舎の学校の良さは少人数制で画一的でなく1人ひとりに合った教育ができるということで、逆にそれを魅力にして移住者を呼べるぐらいにしたい。だけど、遠軽町のマニュアルがそのまま白滝にも適用されて、状況が違うのに遠軽町ではできませんということが多い。へき地教育の良さを生かせるよう白滝では独自のことができるようになってほしい。 例えば、保育園でのことだが、昼寝をさせなければいけないところを昼寝ができない子がいる。子ども6人に対し、先生は3人いるので1人ぐらい昼寝をしなくても見ていられる。でも決まりだから昼寝をしなくてはならない。

会長	人に来いと言っても、白滝に仕事を作らないと。行政もそう、ある程度仕事がないければ業者も減って行ってしまふ。行政側から提言を出すべきではないか。
企画課	昔は行政中心で提言を出して、こういう方針でどうだとやっていたが、それを切り替えて住民と一緒にまちづくりをしていきたいと思いますというスタンスでこういう会議を設けている。
企画課	行政は皆さんに使っていただくもの。ただし、予算には限りがあるので、その中でどう配るかという話なので、全てには答えられないと思う。
会長	予算でも 3 千万～4 千万持ち出している事業も正していかなければならない。そういうところに手を入れて他にお金を配ってほしい。
企画課	そういう話をいただいて生かしていきたいと思う。 施設を評価額でないと売れないという話もあったが、入札にすれば売れるんじゃないかと思う。条例でも規定はあるはずだが、条例も町で作ったものなので変えられる。
委員	公共施設の一覧表について 3 点聞きたい。①この中で遠軽町の判断で統廃合できるものはどれか。②施設維持にどのくらいお金がかかっているのか。③職員住宅にどのくらい入居しているのか。
企画課	①ほとんどの施設は町の単独設置、②使っていない施設についてはほとんどお金がかからない。取り壊す際にお金がかかる。
白滝総合支所	③は今数字を持っていないが、調べれば後で出せる。 ※白滝総合支所が後日調査、21 戸中 13 戸入居 (61.9%) 空室はすべて 35 年以上経過の建物で未水洗化である。
企画課	空いている職員住宅を有効活用するということも考えられる。
委員	施設を廃止しても売るとか、貸すとかしないとあまりお金浮かない。収入源にすることを考えたい。
委員	町の財産として考えたら売れるものは売った方がいい。そういうスタンスで判断をしてほしい。
委員	役場がどれだったら売ってもいいのかを示してほしい。
企画課	使わない建物は売るなり、壊すなりという方針については町として持っている。
企画課	実際に生田原の教職員住宅を売っている事例もある。やろうと思えば、どこでもできる。
委員	美幌では新規就農者が住めるように教職員住宅を活用している。
企画課	一覧表については、より充実させる必要があると考えている。

(3) ふるさと納税の促進について	会長	次は(3)のふるさと納税について。
	企画課	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ふるさと納税の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R1年度 2,310万円 ・ 遠軽町は流出超過? ・ 紋別市は70億円 ・ 返礼品は約50品目 ・ R2. 4～、(株)だいいち水産加工品を返礼品に追加 ・ R2年度から受付事務を商工会議所に委託(道内初)  </div> <p>・ 現状の返礼品については、資料の「お礼の品リスト」のとおりである。</p>
	委員	返礼品は町で決めているのか。業者に募集しているのか。
	企画課	最終的には町で決めるが、公募をしている。応募いただいたら、商工会議所、商工会、観光協会と協議をして最終的に町が決定している。
	委員	前に視察に行った上士幌のアイスクリーム屋はふるさと納税の返礼品で月600万円ぐらいの売り上げがあった。アイスクリームはよく売れるらしいので、岡田さんやノルディックファームさんのアイスが載っていてもいいのではないかな。
	会長	協力隊が商品の掘り起しをやっているのではないかな。
	企画課	協力隊がやっているのは、既存の商品を増やすというより新しい商品づくり。
	委員	じゃがいもにレシピ本を付けているので載せるべき。他との違いも出せる。
	会長	キャットや犬ぞり、パンも載せるべき。
4まとめ	会長	全体を通して意見はないか。 移住のパンフレットに山の家が載っていないのはおかしい。
	委員	ふるさと納税受付を商工会議所に委託ということだが、他のまちはどうしているのか。
	企画課	民間の専門業者がいて、多くはそういうところに委託している。
	会長	興味を引くような商品が必要。
	企画課	本来は物ではなく町を応援したいという趣旨なので、去年から寄付額の3割を超えたらだめとなった。
	委員	アスパラを作るのは大変なのか。
	委員	手作業だし、楽ではない。
	委員	アスパラ農家で新規就農を募集しては。
会長	そろそろまとめていく。「人を呼ぶ」については、空家バンク、人員確保パンフレット、ホームページ、ケーブルテレビなどが出ている。	

企画課	できればアフターコロナの視点があるといい。
会長	仕事を作らないと。仕事を作ることがアフターコロナになる。
委員	ネット環境を整えてテレワークを受け入れるようにする。私はUターンが手っ取り早いと思う。遠軽帰ろうかなと考えている人に届くような情報発信をもっと積極的にすると地域に戻ってくる人も増えていくのではないか。都会じゃなくても働ける人が千人に1人でも2人でもいいから来てほしい。災害が少ないのは遠軽町の魅力だと思う。
委員	地震のない白滝をもっとアピールする。
会長	岩盤の上にある地域は珍しいと学者も言っていた。
企画課	ワーケーションについては、全国でもっとやりなさいというような話になっている。遠軽町、あるいは白滝にワーケーションで来ていただけるチャンスはあるか。どういう視点でやっていけばいいと思うか。
委員	白滝に限って言えば、人口密度が東京の1700分の1ということ。密になれないまち。1平方キロメートル1人ぐらいしかいない。
企画課	空家バンクについては、不動産業との兼ね合いがあると思うが勉強してみる。施設に関しては、売れるものは売るとのことだと思ふ。
会長	それもそうだが、情報を公表してもらわないとわからない。
企画課	学校の関係で「コンビニはなくても、学校は欲しい」というのが印象的だった。それからへき地ならではの教育を売りにするという話もあった。ふるさと納税の返礼品については、アイスクリームなどの話が出た。募集についても、もっとお知らせするというようなことだったかと思う。
委員	ふるさと納税を地元ゆかりのある人をターゲットにしてPRしては。
委員	毎年、東京遠軽会が開かれていて、そこではPRしている。
企画課	今年は集まれなかったが、先日、連泊の助成なども含めてチラシを送ったところ。
委員	ふるさと納税はインターネット経由でやることが多いので、遠軽在住の方の息子さんや娘さんにアクセスできるといい。広報に載せるのもいい。
委員	次回の会議はどうするか。
企画課	秋～冬に開催する全体会議でまちづくり会議は最後になる予定。その前にもう一回やるのか、そのまま全体会議に臨むのか。来年度以降にこうした会議を持った方がいいのか。
委員	もう一回見た方がいい。
会長	合併したのだから、各地域3人ぐらいずつ集まって全体でやった方がいいと思う。

	委員	成果が見えないとやっている意味がない。
	委員	成果の検証の予定はあるか。この会議は役場が作ったものなので、どういう目的があって、どのくらい達成されたのかというのは役場で評価すべき。
	委員	こういう会議がないと、地域の声が届きにくくなるのであってもいいと思う。
	会長	以前は地域審議会というのがあったが、何も役に立たなかった。今は色々な意見が出るようになって良くなったと思う。 8人のうち、3人ぐらい出てよればいいと思う。
	企画課	何歳までとか、女性に限るといったやり方はあると思う。
	企画課	今日の意見を基に臨時交付金の事業を実施することも考えられる。その時にはご報告したい。
	会長	もう一回集まるか。
	企画課	今日の話をごちらでまとめて会長に見ていただいて判断していただくということ でいかがか。
	会長	分かった。
5 その他	企画課	遠軽町芸術文化交流プラザの建設については、来年夏頃完成を予定していたが、1年延期となった。コロナの影響で防震基礎工事が3か月遅延、更に躯体工事、鉄骨工事にも影響し、舞台機構工事については、特殊なもので東京の大手企業であり、他の工事とのスケジュール調整により来年の5月にしかこちらに来れなくなってしまった。舞台機構工事については、9か月ぐらいの期間を要するので再来年の2月までかかることとなった。関係者に御心配をかけているところで、大変申し訳ない。広報8月号に詳しいことを掲載する。
6 閉会	企画課	これをもって白滝地域まちづくり会議を終了する。

21 : 05 頃終了